

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の効果検証の結果報告について

1 概要

令和2年度及び令和3年度に実施した「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」事業の効果についての検証結果を報告するもの。効果検証については、事業担当課にて個別に検証を行い、学識経験者や関係団体などの代表者で構成する「那須塩原市まち・ひと・しごと創生推進懇談会」からも意見の聴取を行った。

●新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（以下、「交付金」という。）

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに効果的・効率的に必要な事業を実施できるよう、国が交付する交付金。

2 実施状況及び効果検証結果

(1) 実施状況

実施計画年度	歳出決算額	交付金充当額	事業数
令和2年度	1,606,067,069円	1,468,736,000円	46事業
令和3年度	504,015,775円	447,992,000円	26事業

(2) 効果検証結果

実施計画年度	非常に効果があった	効果があった	効果がなかった
令和2年度	26.1%(12事業)	73.9%(34事業)	0%(0事業)
令和3年度	34.6%(9事業)	65.4%(17事業)	0%(0事業)

- ・非常に効果があった：定量的な指標などから非常に効果があったと評価できる場合
➡（例）商品券販売率・換金率95%以上、接触方式から非接触方式へ など
- ・効果があった：事業開始前よりも改善したとみなせる場合
- ・効果がなかった：事業開始前よりも改善したと言い難い場合

※詳細は別紙「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況及び効果検証結果一覧」参照。

3 那須塩原市まち・ひと・しごと創生推進懇談会での意見

- (1) 開催日 令和5(2023)年2月3日(金)
- (2) 場所 那須塩原市役所 本庁舎 303会議室
- (3) 意見
 - ・市民や市内事業者の方が各事業の効果を実感できることが重要。
 - ・感染対策としての規制措置や各種事業実施について、自治体にその判断が委ねられているため、那須塩原市としてコロナ後どうなっていきたいかを明確にして、市独自の取組を実施してもらいたい。